



2018年度 ユースチーム 海外遠征報告書



Index

- 03 アメリカ遠征
- 25 スペイン遠征
- 49 総評
- 51 遠征協力
- 53 会計報告



横浜ビー・コルセアーズ アカデミー事業部

2018年度 RIZE Presents 横浜ビー・コルセアーズ ユースチーム

Golden State Warriors Tour 実施報告



Index

- 04 実施概要
- 06 DAY1(出国)
- 08 DAY2(アメリカ到着～GAME1)
- 10 DAY3(GAME2@オラクルアリーナ～試合観戦)
- 12 DAY4(サンフランシスコ観光)
- 14 DAY5(クリスマスゲーム観戦)
- 16 DAY6(帰国)
- 18 選手たちの感想
- 20 PhotoGallery



実施概要

1. 目的

チームとしてのレベルアップ、バスケットボールを通じた異文化交流

2. 期間

12月22日(土)～12月27日(木)

3. 渡航先

アメリカ: カリフォルニア州サンフランシスコ/オークランド

4. 対象

U15男子

U14男子

U13男子

5. 参加人数

U15男子：7名

U14男子：12名

U13男子：11名

スタッフ：2名

チーム関係者(保護者)：10名



5. スケジュール

日時	項目	内容
日本時間：12月22日(土)	出発	成田国際空港出発
アメリカ時間：12月22日(土)	到着/試合	サンフランシスコ国際空港到着 ホテル移動 〈GAME1〉 U13,14男子 vs St, Lsidore U14,15男子 vs Team Legit
アメリカ時間：12月23日(日)	試合/試合観戦	〈GAME2〉 U15男子 vs Team Legit 〈NBA試合観戦〉 ゴールデンステート・ウォリアーズ vs ロサンゼルス・クリッパーズ
アメリカ時間：12月24日(月)	観光	サンフランシスコ観光
アメリカ時間：12月25日(火)	試合観戦	〈NBA試合観戦〉 ゴールデンステート・ウォリアーズ vs ロサンゼルス・レイカーズ
アメリカ時間：12月26日(水)	帰国	サンフランシスコ国際空港出国
日本時間：12月27日(木)	到着	成田国際空港到着/解散



DAY1 : 出国～アメリカ到着

■ DAY1：出国～アメリカ到着

■ 集合・出国手続き

待ちに待った出発当日、全体集合は13:30の予定だが、スタッフは最終打ち合わせのため12:00に空港に到着すると、既にたくさんの選手の姿が。

集合時間ギリギリに来る選手が多いのではと思っていたが、ワクワクを抑えきれなかった様子。全体集合し、添乗員の方からの説明を受け、航空チケット発券、チェックインへと進む。集合写真を撮り、いよいよゲートへと進む。ANA便、UNITED便と2手に分かれるため一旦のお別れ。いよいよアメリカへ出発！



■ アメリカ到着

飛行機に初めて乗る選手がほとんどのため、大いに心配していたが各自で読書をしたり、映画を見たりと特に大きな問題もなくすんなりと時間を過ごせた。

不安視されていた入国審査も無事に全員通過し、晴れてアメリカ合衆国に入国！





DAY2 : アメリカ到着~GAME1

■ DAY2 : アメリカ到着～GAME1

■ スーパーマーケットで寄り道

空港からホテルへの移動途中で遠征中の必要なものを購入するため、スーパーマーケットに寄り道。アメリカのスーパーマーケットに大興奮の選手達。色とりどりのスポーツドリンクを手にしてしたが、お腹を壊さないかが心配になる、その後無事にホテルに到着し、束の間の休息。

■ ビーコルU13,14男子 35vs80 St. Lsidore

下級生主体で臨んだ試合だったが、序盤からインサイドを支配され、相手のプレスディフェンスにリズムを崩し、ターンオーバーを連発してしまう。最後まで食らいつくも、崩れたリズムを取り戻せずにタイムアップ。

■ ビーコルU15男子 39vs84 Team Legit

試合開始直後は外角シュートが良く決まりリードする展開に。相手は中外バランスの良いオフェンスを展開し、確率良くシュートを決め続けジリジリと点差を離される展開。最後は速攻のダンクシュートを決められ、力の差を見せつけられ試合終了。

■ 総評

長時間の移動からの試合となり、選手達にも疲労の色が見られた。しかし、試合では気持ちの面でも負けており、ライン側のボールを争うシーンなどは最初から勝負がついてしまっていた。いくら技術が上手くても、それよりももっと大切なものがあると感じた試合だった。長時間の移動、慣れない環境、違う言語や食事などによるストレスを感じられたことも一つの収穫である。これから、クラブや日本を代表して海外へ試合に行く際、気を付けなければいけないことや、乗り越えなければいけないことを知ることができる。





YOKOHAMA
B-CORSAIRS
WAKO SANGYO Co., Ltd.
SUGIZAKI
Victory Tour

DAY3 : GAME2～NBA試合観戦

■ DAY2 : GAME2～NBA試合観戦

■ オラクルアリーナに到着・イベントマッチ

今回の遠征の最大の目的であるイベントマッチを行うため、会場であるオラクルアリーナに到着。厳重なセキュリティーチェックを受けたあと、ついにアリーナの中に足を踏み入れた。夢にまで見た光景が目の前に広がり、興奮を隠せない選手とコーチ達。時間も限られているためすぐにアップをし、試合を行った。

■ ビーコルU15男子 33vs66 Team Legit

昨日に大敗した相手との再戦となり、リベンジを果たすべく強い気持ちを持って試合に臨んだが簡単にはいかなかった。しかし、昨日の反省を生かし相手のプレッシャーディフェンスに対し早いテンポでボールを回し、随所に好プレーが見られた。負けはしたものの各選手の改善が見られ、見応えのある試合となった。

■ ビーコルU13,14男子 14vs34 Team Legit

下級生は同チームとハーフゲームを行なった。序盤は相手の疲れもあり、ビーコルがリードする展開に。後半は一気に離されてしまったが、最後まで諦めることなく格上の相手に向かって挑み続けることができた。通用した部分も十分にあったので、彼らの自信になることは間違いない。

■ NBA観戦

ロサンゼルスクリッパーズとゴールデンステートウォリアーズの試合。RIZE代表芦刈さんの粋な計らいで一般よりも早く会場に入り選手の練習を特別に見学できることとなった。そのおかげでステフィン・カリー、ケビン・デュラントなどのスーパースターのウォームアップを見間近で見ることができた。試合も最高に盛り上がり、最後はカリーのブザービーターでウォリアーズの勝利！文句なしの素晴らしい試合を観戦することができ、参加者の方々は満足な表情だったのが印象に残った。

■ 総評

日本のユースチームで初めてNBAのホームコートで試合することができた。選手たちは今日という日を忘れることはなく、この経験は財産として彼らの中に残り、今後の人生において大きな影響を与えていくに違いないと思う。帯同したスタッフにとってもかけがえのない経験であり、この企画は今後も続けていかなければいけない企画だと改めて実感した。





DAY4 : サンフランシスコ観光

■ DAY4 : サンフランシスコ観光

■ アウトレットモールでショッピング

1日の始まりは楽しみにしていたアウトレットモールで買い物の時間。

買い物をする選手達の様子を見てみると慣れない英語でシューズのサイズを聞いたり、四苦八苦しながらもなんとかほしいものを手に入れようと頑張っている様子。学校での英語の授業ももちろん大切だが、やはり一番の学習方法はアウトプットすること。ジャストアイデアではあるが、練習中は英語しか話してはいけないなどといった試みも面白いかもしれないと感じた。満足気な表情をしている選手に何を買ったの？と聞くと、家族へのお土産という答え。予想していなかった答えだったので、なんだか嬉しくなる瞬間だった。

■ サンフランシスコ周辺観光

サンフランシスコ周辺は有名な観光地がたくさんあるため、選手は楽しみにしていたのだがあいにくの雨模様。車窓からの景色も霧がかかってしまい美しい景色とはいかなかったが、CHASEセンター、AT&Tフィールド、ゴールデンゲートブリッジなど有名どころは全て抑えた。最後はフィッシャーマンズワープで自由時間を取り、各自はお土産集めに勤しんだ。有名なBOUDINクラムチャウダーは本当に美味しく、惚れ込みお土産に買ってしまふほどだった。

■ チームディナー

夜は中華の食べ放題でチームディナー。連日のアメリカンフードに飽きた選手達は、慣れ親しんだ中華料理を思う存分食べていた。学年が異なる選手同士が絡むことも増え、特に下級生にとっては上級生とコミュニケーションをとる機会貴重な良い経験になっているように思えた。今後もチームディナーなどの機会を作り、チーム全体の士気を上げるといった機会もありかもしれない満腹になった選手達は、疲れもあり帰りのバスの中ではすぐに寝てしまっていた。

■ 総評

今日はバスケットをプレーする時間はなく、観光、買い物で1日が終わったが選手にとってはすごく良い経験になった。海外に出るにあたって一番大切なことは、新しいものを見て今までに感じたことのない感情を抱き、そして言葉で苦労する経験することだ考える。今日1日の中でそのようなシーンがたくさんあったはずなので、今後の彼らの人生にどのような影響を与えるのか今から楽しみだ。



JBA

JBL
120 127



120 127



WARRIORS
vs LAKERS



WARRIORS

YOKOHAMA
B-CORSAIRS

DAY5 : クリスマスゲーム観戦

■ DAY5 : クリスマスゲーム観戦

■ クリスマスゲーム観戦

アメリカ滞在最終日はクリスマスゲームの観戦。対戦カードはゴールデンステートウォリアーズ vs レブロン・ジェームズ率いるロサンゼルスレイカーズ。平均チケット価格はクリスマスゲーム史上最高値だったとか、超満員が予想されたため、朝早くにホテルを出て会場に到着。そして今回も優先的に入場ができ、選手のウォームアップをコートサイドで見学できることに。スーパースターを目の当たりにし、彼らのテンションも最高潮に。試合も最高に盛り上がり、超満員のアリーナが揺れに揺れた。まさしく歴史的なゲームとなった。



■ 総評

クリスマスゲームは想像の何倍よりも素晴らしく、そして観客に夢を与えてくれる空間だった。試合観戦している選手の表情を見ると、試合に引き込まれいつになく真剣な選手達。試合後は言葉にならない感情で溢れ、ただただすごかったの一言。NBAだからこそ作れる雰囲気があるそこにはあり、特別な最高の時間だったに違いない。日本のBリーグもいつかNBAに負けないようなエンターテインメント性、競技性を兼ね備えたリーグになってくれればと願う。





DAY6 : アメリカ出国～日本帰国

■ DAY6 : アメリカ出国～日本帰国

■ 出国手続き

ついに帰国の日となり、寂しそうな様子の選手達。前日からしつこく準備をするように伝えていたため、集合には誰も遅れることなく無事に空港へ行くことができた。空港での手続きも慣れた様子でこなし、名残惜しみながらも飛行機に乗り込み日本へと出発した。

■ 日本到着

予定通り飛行機も運行し、定刻通り日本に到着！

荷物を取り、ゲートの外に出るとたくさんのお出迎えが。飛行機の中ではぐったりしていた選手も家族と再会し早速遠征の出来事を話し始める選手達。全体で挨拶を済ませ、全体写真を撮影し空港で解散。長いようで短かった遠征も、事故なく無事に終了。

■ 総評

大きなトラブルもなく無事に帰ってくることができ、本当に良かった。不安もたくさんあったのか、空港で家族に再会し嬉しそうな顔をして遠征の出来事を語る選手を見ていると改めて遠征を実施して良かったと感じることができた。





YOKOHAMA
B-CORSAIRS

参加選手の感想

■ 参加選手の感想

Q:実際に感じた日本のバスケットとアメリカのバスケットの違いは？

A:日本では早い展開を作り攻めることが中心だが、アメリカではスクリーンを使いディフェンスとのズレをしっかりと作ってから攻めてきた。最後のフィニッシュも力強く、ファールをしても止めきれないことが多かった。

Q:食事の面での日本とアメリカの違いは？

A:アメリカではワンパターンな味付けが多く、すぐに飽きてしまった。
日本食は種類によって繊細な味があり、恵まれている環境だと改めて実感した。
今後も海外に行った際は同じように食事で苦しむこともあると思うので、自分で日本食を持っていくなど工夫をしなければいけないと思った。



Q:NBAを観戦して、どんなことを感じたか？

A:観客の多さ、演出、会場の規模などすべての面で圧倒された。思っていたよりも数倍のインパクトがあり、あっという間に時間が過ぎてしまった。日本のBリーグもこのようなリーグになってくれればなと思った。



Q:日本とアメリカの文化の違いは？

A:日本人は人見知りが多く、初対面で仲良くなることはあまりないがアメリカでは初対面でも積極的にコミュニケーションを取ってくれる人がすごく多かった。対戦したチームの選手も試合後に話しかけてくれ、仲良くなりinstagramで友達になった。そんな経験もあり、積極的にコミュニケーションを取ることは大事だと改めて感じた。

Q:NBAのコートに立ちたいと思ったか？

A:強く思いました。観客の声援、試合のレベルの高さ、選手のスター性、すべてが想像以上であり、自分もいつかあのコートに立ち試合ができたらと感じた。その目標を叶えるために日本に帰ってから今は今までよりももっと努力を続けようと思う。





Photo Gallery

Photo Gallery

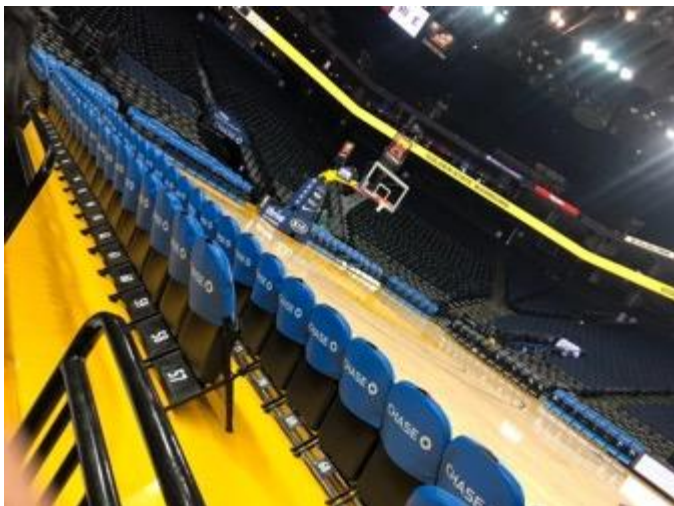


Photo Gallery



Photo Gallery





横浜ビー・コルセアーズ アカデミー事業部 2019年度 スペイン遠征実施報告



Index

■ スペイン遠征

26 実施概要

29 DAY 1 (出国)

31 DAY 2 (スペイン到着～GAME1)

33 DAY 3 (バルセロナ観光～GAME2)

35 DAY 4 (GAME3～バルセロナ練習会場施設見学)

39 DAY 5 (帰国)

41 参加選手の感想

47 PhotoGallery

FC BARCELONA
CIUTAT ESPORTIVA
JOAN GAMPER



YOKOHAMA
B-CORSAIRS

実施概要



Audi Global Partner del FC Barcelona



Audi

del FC



loba

FC Barcelona

1. 目的

個人の競技力向上、チームとしてのレベルアップ。
バスケットボールを通じた異文化交流

2. 期間

3月13日（水）～3月18日（月）

3. 渡航先

スペイン カタルーニャ州 リュレッド・ダ・マール

～リュレッド・ダマールについて～

バルセロナなどの有名観光地から車で1時間ほど。ビーチが有名な場所であり、有名観光地に比べると治安はかなり良い。日本と似た気候であり、滞在期間中の平均気温は15度と暮らしやすい気候

4. 対象

U15男子

U15女子

5. 参加人数

U15男子：11名

U15女子：9名

スタッフ：5名

6. スケジュール

日時	項目	内容
日本時間：3月13日（水）	出発	羽田空港出国 ～北京首都国際空港経由
スペイン時間：3月14日（木）	到着／試合	バルセロナ・エル・ブラット空港到着 練習会場にてW-UP <GAME1> U15男子 vs UE Mataró U15女子 vs UE Mataró
スペイン時間：3月15日（金）	観光／試合	バルセロナ観光 <GAME2> U15男子 vs SantFeliuenc U15女子 vs FCB Barça
スペイン時間：3月16日（土）	試合／施設見学	<GAME3> U15男子 vsIPSI U15女子 vsFemini Maresme FCBarcelonaユースチーム試合観戦／練習会場施設見学
スペイン時間：3月17日（日）	帰国	バルセロナ・エル・ブラット空港出国 ～上海浦東国際空港経由
日本時間：3月18日（月）	到着	成田国際空港到着／解散



STS
SUGIZAKI TRAVEL SUPPORT

SUGIZAKI
kanko bus

SUGIZAKI
transport

YOKOHAMA B-CORSAIRS ACADEMY SPONSORSHIP
EXPLORE DREAM DISCOVER

YOKOHAMA
B-CORSAIRS

YOKOHAMA
B-CORSAIRS

和光産業(株)
WAKO SANGYO Co.,Ltd.

YOKOHAMA B-CORSAIRS ACADEMY SPONSORSHIP
EXPLORE DREAM DISCOVER

DAY1(出発日:出国)

■ DAY 1 : 出国～スペイン到着

■ 集合・出国手続き

羽田空港国際線ターミナルに集合。初めて海外へ行く選手も多くいたため、緊張の面持ちもしていた。

保護者の方々が多くお迎えに来ていただく中、いよいよ出国手続きへ。出国手続きも初めてのことに心配そうに実施している選手もいたが、トラブルなくスムーズに手続き完了！

いよいよまずは、経由国の中国・北京国際空港へ4時間のフライト。

■ 乗り継ぎ

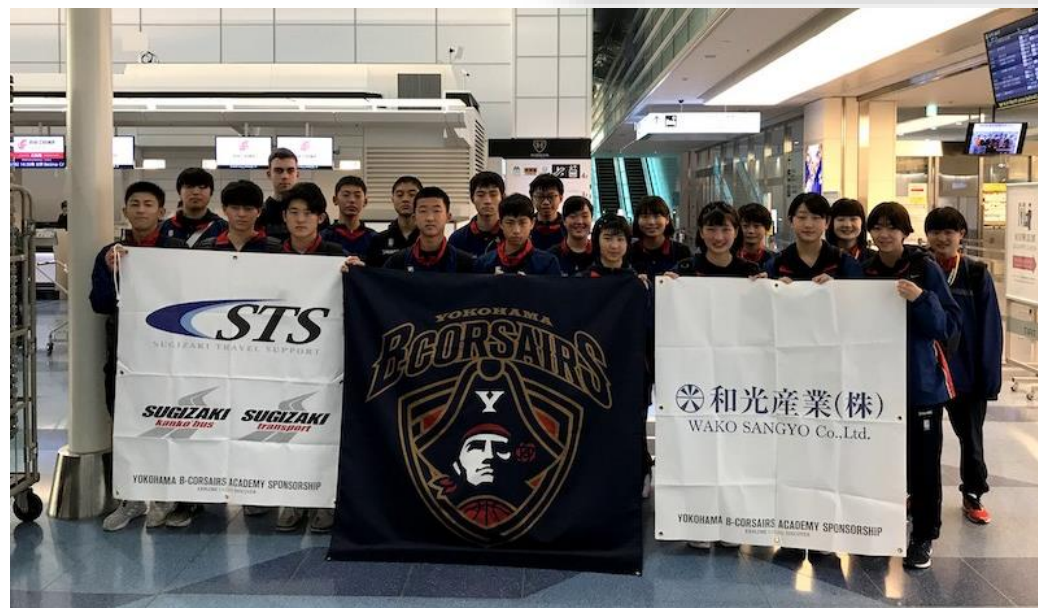
北京国際空港に到着。

去年の中国乗り継ぎの際は、時間もなく大変な乗り継ぎだったが、今年は時間に余裕があったこともあり、トラブルもなくスムーズに乗り継ぎを終えることが出来た。

■ スペイン到着

北京国際空港からのフライトは約11時間。長いフライト中はほとんどの選手が寝ていたり映画を見ていたり、と自分の時間を過ごす選手ばかり。

さすがに長時間の移動に疲れている様子だった。





DAY2(スペイン到着～GAME1)

■ DAY2 : スペイン到着～GAME1

■ 練習会場でウォーミングアップ

スペインに到着しホテルに移動。チェックイン後、練習会場に移動してウォーミングアップとチームオフENSEの確認。慣れない長時間の移動で、少し身体が重そう…。それでも見新しい環境でしっかり身体を動かしていく。

■ GAME1 vsUE Mataró

<男子>

●ビーコルU15男子 36-86 UE Mataró

相手は180cmオーバーの選手ばかり。ペイント内の得点をなかなか止めることが出来ない。果敢なアタックで挑むも高さやコンタクトが強く点数も伸びない。相手の高いチームオフENSEやサイズになかなか対応できず大差で敗戦。

<女子>

△ビーコルU15女子 50-50 UE Mataró

序盤は、テンポのよいチームオフENSEでインサイドからのポイントを許すが、ファーストブレイクなどのポイントで食い下がる。劣勢の展開が続くが、最後、3Pブザービーターで同点！

■ 総評

移動の疲れもあったが、スペインの選手たちのサイズや高いチームオフENSE力になかなかうまくプレーできないことが多かった。日本ではフィニッシュできることも世界では簡単に出来ないことを選手は痛感した印象だった。得るものがとても多い1日目だった。





DAY3(バルセロナ観光～GAME2)

■ DAY3 : バルセロナ観光～GAME2

■ バルセロナ観光

夕方ごろまでバルセロナ観光！世界遺産のサグラダファミリアやバルセロナ市街地を観光。街並みの美しさに感動しきり。またFCバルセロナの本拠地「カンプノウ」にも行き、アリーナやショップを見て回った。

■ GAME2 vs Sant Feliuenc / vs FCB Barca

<男子>

● ビーコルU15男子 73-74 Sant Feliuenc

昨日に比べて明らかにコンタクトにも慣れて、コートでよく声もかけてチームディフェンスを続けて前半は6点差で終了。3Qに入ると、セカンドチャンスからポイントを重ねられて3Pも効果的に決まってしまう。4Qで猛迫したが、追い付かず1点差でゲームアップ。

<女子>

● ビーコルU15女子 40-84 FCB Barca

チームオフェンス・チームディフェンスがとにかくスムーズなFCB Barca。

徐々にDEFで我慢してチャンスを狙い果敢にアタックし粘るも、ミドルショットがなかなか入らない。後半、徐々に効果的なアタックが増えてポイントを重ねていくが、縮めることはできず敗戦。

■ 総評

女子のFCB Barcaはとにかく圧巻だった。世界で戦うために何が重要なのかを考えさせられた。また試合前後には、U12～トップ（女子）までの練習も見ることが出来た。アンダーカテゴリーからトップチームまで縦のつながりを見れたことにバスケットをプレーする環境や施設の素晴らしさを目の当たりにすることができた。





DAY4(GAME3～FC/バルセロナ施設見学)

■ DAY4 : GAME3～FCバルセロナ施設見学



■ GAME2 vs IPSI / vs Femini Maresme

<男子>

○ビーコルU15男子 83-57 IPSI

昨年度、予選リーグ・3決でも対戦した相手との再戦。序盤からチームオフENSEをしっかりと行い、チャンスを作る。ターンオーバーを誘発しポイントを重ねる！後半に入ると相手の果敢なアタックや激しいDEFに締められるも4Qは落ち着いて試合運びを行い勝利！遠征初勝利で終了。

<女子>

●ビーコルU15女子 56-63 Femini Maresme

バックドアを中心としたギャップをつくプレーをなかなか止めることが出来ない。後半に入るとチームディフェンスを徹底し相手のOFFを止めるもターンオーバーが続けてしまう。タイムアウトで状況を変えるも追いつくことが出来ず敗戦。

■ バルサU18リーグ戦試合観戦 / FCバルセロナ練習会場施設見学

U18のリーグ戦に招待してもらい、試合観戦を実施。身体の高さやプレーの迫力に子どもたちは釘付けだった。コーチ陣はバルセロナの育成ディレクターPere Capdevila氏からも多くの話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来た。

■ 総評

本日で予定していた3GAMEがすべて終了。スペインの選手たちのスパーシングの感覚やハーフコートオフENSEの質の高さにはどのゲームでも驚かされた。バルサの施設は本当に圧巻。バルサ育成ディレクターのPere Capdevila氏からの話はコーチ陣にとって一番の有意義な時間であった。





DAY5(帰国:スペイン出国)

■ DAY5 : スペイン出国～日本帰国

■ スペイン出国～乗り継ぎ（上海国際空港）

出国手続きもみんなだいが慣れ、1人でも受け答えができるようになるまで！帰りの飛行機は疲れからか長時間寝ていて、到着が早く感じた。上海浦東国際空港での乗り継ぎ時間が余裕があったので、チームミーティングを実施。

スペインで何を感じ、学び、次に活かそうと想っているかを考え、全員でディスカッション。さまざまな意見が飛び出し、内容の濃いミーティングとなった

■ 帰国

いよいよ帰国。選手のみならず「早く日本帰りたい」「日本食が食べたい」といった声も聞こえてくる。

成田国際空港に到着し、多くの保護者のかたにお迎えに来ていただくなかで、帰国することとなった。

最後のミーティングでは白澤HCから「今回みんなが経験したことをぜひこれからの人生に活かしてほしい。バスケットボールはもちろんのこと、生活や環境においてさまざまなことを感じたはず。この経験を糧に世界で活躍できる人材にみんなが成長してほしい。」との言葉に改めて気を引き締めてそれぞれ帰路にたった。





YOKOHAMA
B-CORSAIRS

参加選手の感想

■ 参加選手の感想

Q1 スペインの同世代の選手にどんな印象を受けたか？

オフェンスでもディフェンスでも自分と同学年かと思うクライナ力の差を感じた。だが、ゴール下にドライブをしたとき、身体を寄せてみると自分が思っているより攻められた。

Q2 貴重な経験になったことは？

日本では経験できないフィジカルの強さやスピードを体験できたこと。海外という慣れない環境の中で、仲間とのコミュニケーションの大切さを改めて感じる事が出来た。



Q1. スペインのバスケットはどう感じたか？

身体大きくて、自分たちのチームは小さい。日本では1on1が出来たのに出来なかった。大人とやってる感覚。プレーのやり方を工夫しないといけないと思った。この3日間で慣れてきて、試合の中でコンタクトにも慣れてきて、チームはもちろん基礎の重要性を知った。

Q2. 今回のスペイン遠征どうでしたか？

今までにない経験が出来て、自分のためにもなったし、良い思い出が出来た。



Q1. スペインはどのような国と感じたか？

とてもフレンドリーな人が多くて、良い人たちだと思った。街並みは自転車が多かったり、電線が無いのが印象的だった。

Q2. スペインに勝つために、何が必要と感じたか？

オフボールの動きからディフェンスを崩して攻める。オフェンスリバウンドはなかなか取れないので、アウトサイドシュートの確率をあげる。



Q1. スペインで試合をすることで何が楽しかったか？

A1.動き出しの1歩が大きかったり、体の使い方が上手かったりする人につけたこと。スペインでバスケットが出来たこと。1対1で抜けて、シュートを確実に決められた時

Q2. 次の海外遠征があったらどんなことをしてみたいか？

A2. 自分に必要なことを練習して、それが他国にも通用するものなのかを試したい。また他の国の練習の仕方を知り、一緒に練習してみたい





Photo Gallery

Photo Gallery DAY1~DAY2

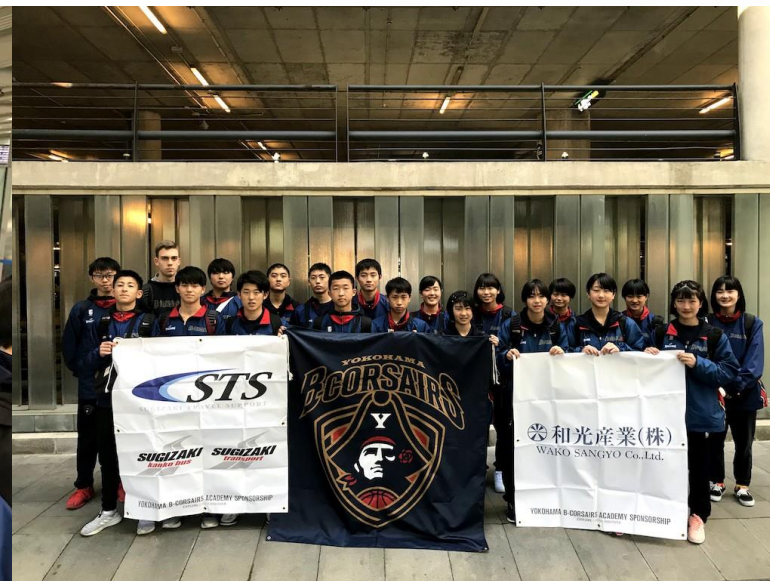
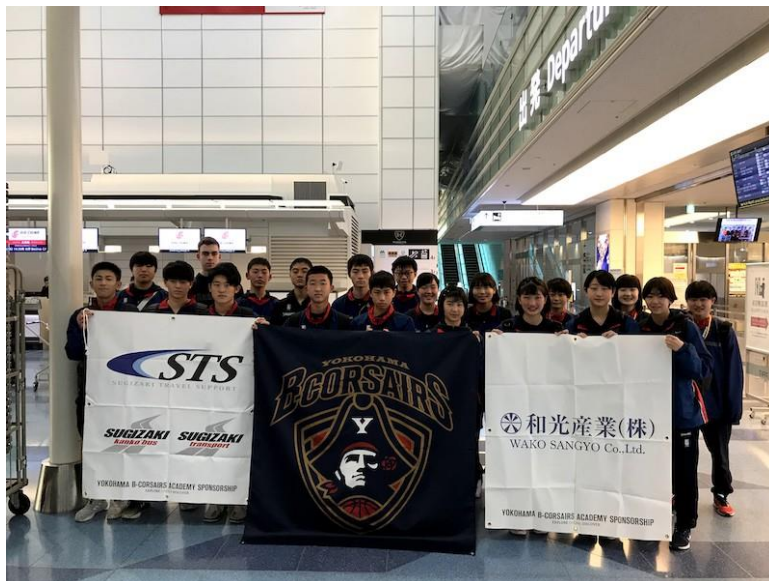


Photo Gallery DAY1~DAY2



Photo Gallery DAY3

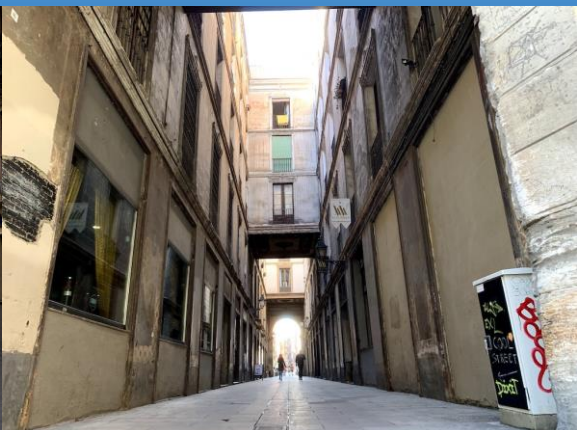
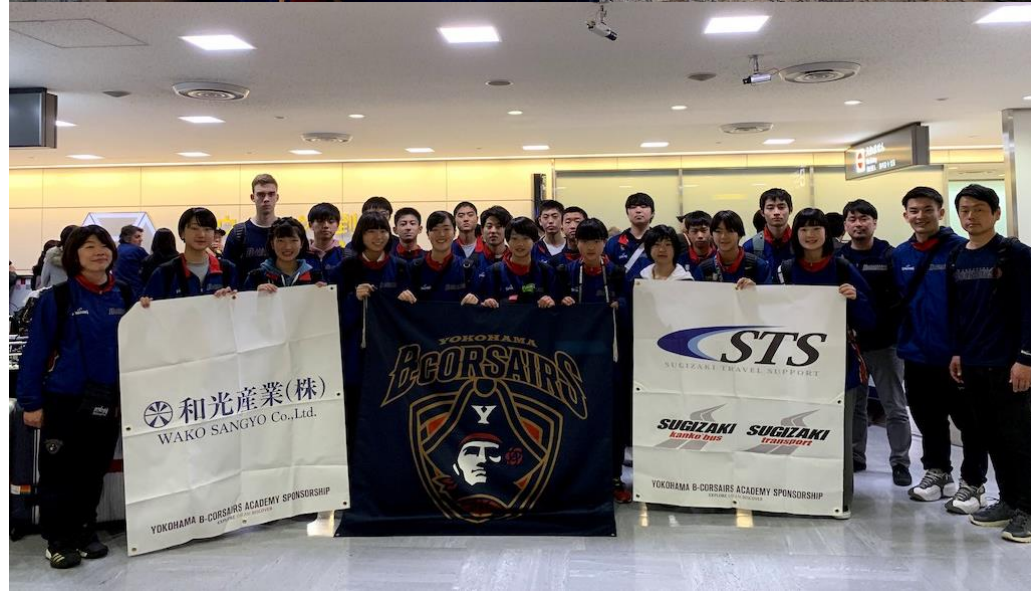


Photo Gallery DAY4



Photo Gallery DAY5





2018年度海外遠征 総評

体の大きさ、高さは劣る。それは想定済みでした。イメージもできていました。しかし、「体験しなければ分からない」これがすべてだったと感じています。日本では、同世代に負けない力を持つ選手達も、圧倒的な違いでねじ伏せられていました。それはコーチも同じ。日本で通用するいくつかの戦術や個人技も、全くと言っていいほど通用しなかった。基礎の積み重ね、冷静で賢い判断。激しい競争を勝ち抜くための術が備わっていると感じるとともに、コーチとしての指導不足を痛感させられました。

子ども達はそれぞれの遠征を通して、非常に逞しくなっていました。他国を知り日本と比較することすることで、文化や教育、社会を見つめなおすことができるようになりました。

また、帰国後の彼らの行動や言動を見ると、明らかに今まで見ていた、考えていた視点から、より高い視点に変わったということを感じます。この成長は、将来の人生において、大きな影響を与えていくと確信しています。特に、他国の言語や文化について知ることや、より多くのコミュニケーションを取ろうとする姿勢は、学校生活での学習にもつながっていくでしょう。

動画で見えていても、話で聞いていても、実際に対峙して対戦しなければ、絶対に体験することができないこと。彼らが目指すBリーグ、日本代表、そしてNBAで活躍するために必要なことを身をもって経験することこそが、子ども達の宝であり財産であると確信しています。

このような子ども達の成長は、開港都市横浜からバスケットボールと横浜ビー・コルセアーズを通して世界へ向いて芽を伸ばしていきます。

このような機会を創出するにあたり、多くの関係者にご協力、ご支援をいただきましたことを深く感謝しております。

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー事業部ディレクター兼U15男女チームヘッドコーチ
白澤 卓（しらさわ たかし）



STS
SUGIZAKI TRAVEL SUPPORT

SUGIZAKI
kanko bus

SUGIZAKI
transport

YOKOHAMA B-CORSAIRS ACADEMY SPONSORSHIP
EXPLORE DREAM DISCOVER

YOKOHAMA
B-CORSAIRS

遠征協力

 **和光産業(株)**
WAKO SANGYO Co.,Ltd.

YOKOHAMA B-CORSAIRS ACADEMY SPONSORSHIP
EXPLORE DREAM DISCOVER

■遠征協力

1. 海外遠征法人パートナー



■ 杉崎運輸株式会社



■ 杉崎観光バス株式会社



■ SUGIZAKI・トラベルサポート株式会社



■ 和光産業株式会社

2. 海外遠征個人パートナー ※申込順

あんど う たかお 様

伊藤 洋一 様

東海林 実 様

中田 信行 様

富田 英樹 様

岡田 千恵 様

小早川 潤 様

増田 林太郎 様

他、3名

■ 会計報告

内訳	収入(税込)	支出(税込)	備考
海外遠征協賛金(個人パートナー)	140,400		11名 (26口)
海外遠征協賛金(法人パートナー)	750,000		75口
アカデミーサポートクラブ	1,200,000		
アメリカ遠征: 選手負担 (372,000円/1人)	0		参加費売上は、株式会社ヴィクトリーツアーへ計上
スペイン遠征: 選手負担 (146,570円/1人)	3,077,970		
アメリカ遠征: 旅費・宿泊費等		858,856	渡航費・宿泊費・保険代含む
スペイン遠征: 旅費・宿泊費等		4,141,220	渡航費・宿泊費・保険代含む
小計	5,027,970	5,000,076	
収支	27,894		

※余剰金は、来年度ユースチーム海外遠征補助金へ繰り越させていただきました。

Thank you for your kind attention.

